

報道関係各位
プレスリリース

2025年12月12日
株式会社マルチブック

グローバルクラウドERP「multibook」、フィリピンの手作業業務のシステム化・自動化を強力に推進

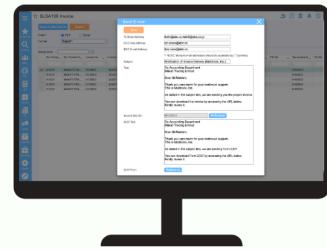
源泉徴収税 Form 2307 を得意先に代わり自動作成・送付し、収集業務を大幅に効率化

グローバルクラウドERP「multibook」を提供する株式会社マルチブック(本社:東京都品川区、代表取締役社長 渡部 学、以下「当社」)は、フィリピンにおいて、源泉徴収税に関し得意先からの受領が必要かつ重要な Form 2307 について、得意先に代わって自動作成し、請求書とともに得意先へ送信することで Form の収集を効率化する機能をリリースしたことをお知らせします。

グローバルクラウドERP「multibook」、 フィリピン税務の手作業業務のシステム化・ 自動化を強力に推進

BIR Form 2307自動作成・送付機能を実装

multibook



■開発背景

フィリピンでは、サービスに関する請求が源泉徴収税の対象となり、顧客は支払い時に源泉徴収税額を差し引きます。差し引かれた源泉徴収税額を法人税と相殺するためには、サービス提供側は各顧客から BIR Form 2307 を取得する必要があります。

しかし、この Form 2307 の収集は極めて重要である一方、多くの企業にとって大きな負担となっているのが実情です。

この課題を解決するため、当社は「PH 2307 Form EasyCollect」を開発することとしました。

当社は今後も、フィリピンをはじめとする東南アジアにおける会計業務の手作業プロセスのシステム化・自動化を強力に推進し、企業のグローバル経営を支援してまいります。

■グローバルクラウドERP「multibook」概要

2027年4月1日以後に開始する事業年度から強制適用となる新リース会計基準に対応。

導入が速い、処理速度が速い、解決が早い、速さを追求するグローバルクラウドERP。

12カ国語・多通貨・複数帳簿に対応し、全世界の拠点をシームレスに統合します。製造・商社・飲食・建設など多業種にわたり、上場企業から非上場企業まで、35カ国・600社以上での導入実績があります。

主な機能:会計、ロジスティクス、固定資産管理、IFRSリース資産管理、新リース会計基準、立替経費精算、マネジメントコックピット、BPOコックピット、外部連携(連結会計、倉庫管理等)機能

サービス名:「multibook」(マルチブック)

URL:<https://www.multibook.jp/>

※12の対応言語:

日本語、英語、タイ語、ベトナム語、韓国語、ミャンマー語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語(繁体字・簡体字)、インドネシア語

■株式会社マルチブック 会社概要

会社名:株式会社マルチブック

代表者:代表取締役社長 渡部 学

設立:2000年9月

本社:東京都品川区西五反田1-1-8 NMF五反田駅前ビル5階

海外拠点:シンガポール・タイ・フィリピン

事業内容:グローバルクラウドERPサービス「multibook」等の企画・開発・提供

URL:<https://www.multibook.jp/>

本件に関するお問い合わせ先
株式会社マルチブック 広報:吉崎

TEL:070-4798-1150 MAIL:moe.yoshizaki@multibook.co.jp